

障害者支援施設 障害者福祉センター友愛寮

1 基本方針

思いやりと友愛の心を持って、豊かで心のこもった利用者本位の質の高い福祉サービスを提供するために職員一人ひとりが専門職としての資質向上に努め、利用者が安全かつ安心に、楽しく有意義に生活できるよう支援する。

地域共生を重視し、コロナ禍ではあるがボランティアやイベント参加など地域住民との交流の実現に努めるとともに、介護・支援を必要とする地域住民等のニーズに応えられる通所や短期入所等の在宅サービスの充実を図る。

2 今年度重点事業目標

- (1) 安定的な施設運営の維持及び施設の環境整備に努める
 - ア 安定的な施設運営を維持するため、目標稼働率の達成に努める。
[目標稼働率：生活介護95%、施設入所支援92%、短期入所50%]
 - イ 利用者の高齢化・重度化が進む中、安心・安全で快適な生活を提供するため、老朽化しているが一層の施設の環境整備、施設建物の保全に努める。
また、緊急災害時に備え、必要物品の備蓄や施設内の防火設備の点検・改修を行い、災害訓練を実施する。
 - ウ さらに、新型コロナウイルス感染症やその他の感染症に対して、適時適切な対策を講じることにより、利用者・職員への感染を防止し、施設運営が円滑に継続できるよう努める。
 - エ 厚和寮との建替計画については、建設コストの高騰も視野に入れながら、厚和寮とも情報共有を図りつつ、具体的にスケジュール、定員や利用形態などの検討を進める。
- (2) 利用者の満足度の高いサービス提供に努める
 - ア 利用者一人ひとりの日々の生活での現状・ニーズを丁寧に把握し、課題を整理した上でアセスメントを行うなど、各部署が協働して個別支援計画の充実・達成を図る。
 - イ 身体障がいに加え、知的、精神障がいを有する利用者に対応するため、職員は専門職としての介護や医療の知識・技術の向上、研鑽を図るとともに、チーム力の向上にも取り組む。
 - ウ 利用者・家族アンケートや業務遂行に係る職員の自己評価の実施により、定期的に提供しているサービスの振り返りを行い、業務の改善・向上に努める。
 - エ 利用者の人権や権利を擁護し、安心して暮らせるよう施設全体で虐待防止や権利擁護に向けた取組を行い、サービス向上に努めるとともに、利用者の意思を尊重しつつ成年後見人制度の紹介も行う。
 - オ 個々の咀嚼・嚥下機能に適した食事提供を行い、確実・安全に栄養摂取することができるよう、季節ごとに楽しみのある食事提供を行う。
 - カ 個々の意欲に応じた楽しみのある生活につながるよう、利用者の心身機能に合わせた個別リハビリを実施するとともに、各部署との連携・情報共有して日常生活リハビリへの積極的な取組や補装具や福祉用具の活用により、生活機能の一層の向上に努める。
- (3) 医療的ケアの充実を図る
 - ア 各部署が連携し、日常の観察と情報の共有を徹底し、利用者の日常の健康管理や異変時の早期対応（担当医への相談・通院等）に努める。
 - イ 必要な知識と技術向上に努め、有資格者による安心・安全な痰吸引・経管栄養を実施する。
- (4) 地域生活の継続と推進を図る
 - ア 利用者・家族が安心して地域での在宅生活を継続できるよう、相談支援事業所や地域包括支援センター、各市町村とも連携を図り、通所・短期入所等在宅サービスの推進に努める。
 - イ 寮内でのイベント参加など地域住民との交流を推進するとともに、災害時の福祉避難所などの施設機能について地域住民等へ情報提供することにより、地域で必要とされる施設を目指す。